

平成27年度 決算・財政状況



本市の平成27年度の決算が9月定例
 議会で認定されました。

皆さんの大切な税金をもとに運営さ
 れている市政。昨年度はどれくらい
 の収入があり、どのような目的に使
 われたのか。決算の概要と財政状況
 をお知らせします。

一般会計

平成27年度に一般会計に入ったお
 金(歳入)は511億4649万円。
 この中から使ったお金(歳出)は49
 2億6739万円で、差し引き額は
 18億7910万円になりました。

歳入を前年度と比較すると、自主
 財源の代表的なものである市税は1
 億1002万円(1割)減少。依存財
 源の代表的なものである地方交付税
 は24億9880万円(13.9割)減少。
 ただし、歳入全体では、7億460万
 円(1.4割)増加しています。

歳出を性質別で前年度と比較する
 と、歳出全体の44.4割を占める義務
 的経費は、保育業務の委託など扶助

■平成27年度の主な事業

分野	事業名	金額 (単位:万円)	事業内容
ついつ	担い手育成支援事業	2,890	農業経営開始に向けた初期費用を補助するなど、地域農業の担い手となる農業者や集落営農組織を育成しました。
	観光情報発信事業	5,490	訪日外国人観光客の誘客に向けた観光情報の発信などに取り組みしました。
	地域企業連携・新製品開発事業	1,552	市内企業と日用品メーカーとが連携し、魅力あるご当地日用品の試作品開発に取り組みました。
	就労支援事業	3,069	ジョブカフェはなまきの運営など求職者支援を実施するとともに、就業したUIJターン者と、UIJターン者を雇用した事業者に対し奨励金を支給しました。
暮らし	避難対策事業	3,178	ハザードマップを作成し市内全世帯に配布したほか、土砂災害警戒区域の対象世帯へ防災ラジオを無償貸与するなど、災害時に備え各種環境整備を行いました。
	消防団施設等整備事業	8,004	消防屯所や消防ポンプ車などの更新整備を行い、地域消防力の充実・強化を図りました。
	乳幼児医療費助成事業	8,652	3歳以上の未就学児の医療費の所得制限と自己負担を撤廃し、出生から就学前までの児童の医療費を無料化しました。
人づくり	放課後児童支援事業	1億6,461	学童クラブの開所支援や放課後子供教室の開所、八重畑学童クラブの整備などを行いました。
	第3子以降保育料負担軽減事業	3,083	幼稚園や保育所などに在籍する児童の世帯の第3子以降の保育料負担額の一部を補助しました。
	中学校校舎改築事業	7億1,208	湯口中学校の改築工事に着手したほか、大迫中学校の改築整備に向けた設計などを実施しました。

費の増加などにより2億8030万
 円(1.3割)増加。投資的経費は、過
 年度の豪雨災害の災害復旧工事が平
 成26年度までに終了したことなど
 より5億6396万円(10.3割)減
 少。その他の経費は、プレミアム付商
 品券交付事業委託など物件費の増加

などにより11億8975万円(5.6
 割)増加しました。
 歳出全体では、9億608万円
 (1.9割)増加しました。

今後とも、事業の優先度・緊急度を
 見極め、限られた財源を効果的に活
 用しながら、戦略的・重点的な施策展
 開を図ります。

なお、平成27年度に実施した主な
 事業は左記のとおりです。

【特別会計決算の総括表】

(単位:万円)			
会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険	115億6,595	112億1,838	3億4,757
後期高齢者医療	18億8,294	18億8,276	18
介護保険	98億2,353	95億8,240	2億4,113
公設地方卸売市場事業	1億3,144	1億2,987	157
下水道事業(※)	32億6,876	36億5,999	△3億9,123
農業集落排水等汚水処理事業	14億8,076	14億4,133	3,943
合 計	281億5,338	279億1,473	2億3,865

※公営企業会計への移行に伴う打ち切り決算により、4月借り入れの地方債が未収となり歳入に計上されていないため、差し引き残額がマイナスになっています

特別会計

六つの特別会計の決算

市の会計には、一般会計とは別に、特定の収入で特定の支出を賄う「特別会計」があります。

◆国民健康保険

加入者が納める国民健康保険税や国・県からの交付金などを主な財源として、医療給付や各種保健事業を実施しました。

平成27年度の被保険者は2万2641人で、前年度と比較して1029人(4.3%)減少しました。市が支払う保険給付費は65億7552万円で前年度と比較して1億2545万円(1.9%)減少しました。

◆後期高齢者医療

後期高齢者医療保険料や市の負担金を主な財源として、各種の申請や届け出の受け付け、保険料の徴収な

◆◆◆

この特別会計は、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

◆介護保険

介護保険料や国・県市の負担金などを主な財源として、介護サービスを提供しました。

平成27年度末の65歳以上の高齢者は3万1546人、本市の人口に占める割合は32.1%となり、前年度と比較して0.8ポイント上昇しています。

また、要介護などの認定者6376人のうち、5283人(82.9%)が介護サービスを利用しました。市が支払う保険給付費は

◆公設地方卸売市場事業

施設使用料や売上高に応じた使用料を主な財源として、公設地方卸売市場を運営しました。

生鮮食料品の安定供給に努め、青果物6891ト、水産物1934トの取扱高がありました。

◆下水道事業

下水道使用料や国の補助金を主な財源として、下水道施設の整備・維持管理などを行いました。

平成27年度は矢沢地区や好地地区など8地区で埋設排水管の布設工事を行い、下水道整備区域を拡大。その結果、計画面積に対して

◆農業集落排水等汚水処理事業

農業集落排水施設使用料や国・県の補助金を主な財源として、汚水処理施設の整備・維持管理などを行いました。

成4年度から平成22年度まで整備を実施。花巻地域7地区、大迫地域1地区、石鳥谷地域5地区、東和地域1地区の全ての地区で整備が完了し、供用しています。

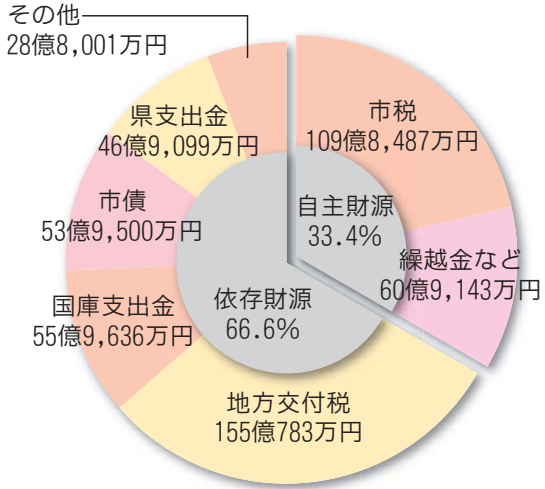
公共下水道や農業集落排水の集合処理区域を除く地域では、戸別浄化槽を設置するなど、それぞれの区域に即した汚水処理方法で水洗化を促進しました。

【歳入決算額内訳】

項 目		27年度 (単位:万円)	構成比	増減率
自主財源	市税	109億8,487	21.5%	△1.0%
	繰越金	20億8,059	4.1%	△0.5%
	諸収入	12億9,422	2.5%	△2.9%
	繰入金	11億 551	2.2%	72.2%
	使用料及び手数料	7億2,654	1.4%	△8.8%
	分担金及び負担金	5億8,699	1.1%	△3.8%
	寄附金	2億2,264	0.4%	762.3%
	財産収入	7,494	0.1%	△73.1%
	小 計	170億7,630	33.4%	1.2%
	繰越金など			
依存財源	地方交付税	155億 783	30.3%	△13.9%
	国庫支出金	55億9,636	10.9%	0.4%
	市債	53億9,500	10.5%	21.6%
	県支出金	46億9,099	9.2%	37.3%
	地方消費税交付金	17億9,575	3.5%	63.0%
	地方譲与税	8億4,735	1.7%	5.0%
	自動車取得税交付金	1億 324	0.2%	10.7%
	地方特例交付金	3,395	0.1%	1.7%
	配当割交付金	2,944	0.1%	△21.5%
	株式等譲渡所得割交付金	2,465	0.0%	39.0%
	利子割交付金	1,587	0.0%	△0.7%
	交通安全対策特別交付金	1,524	0.0%	8.2%
	ゴルフ場利用税交付金	1,452	0.0%	2.9%
	小 計	340億7,019	66.6%	1.5%
	その他			
合 計		511億4,649	100.0%	1.4%

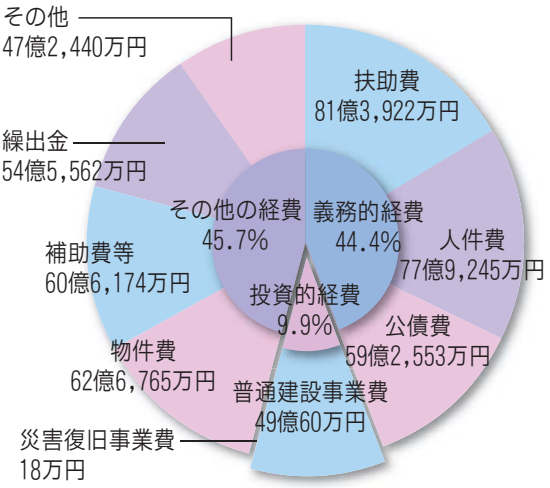
※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致していません

歳入 511億4,649万円



用語解説(歳入関係)
▶自主財源・依存財源／市税や施設使用料など、市が自らの収入とすることができる財源が「自主財源」。地方交付税、国庫・県支出金など、国や県から交付される財源と借入金が「依存財源」▶地方交付税／市の財政力に応じて、国から交付されるお金▶国庫支出金・県支出金／事業の財源として使い道が特定された、国や県から交付されるお金▶市債／事業を行うために、市が国や金融機関から借りるお金

歳出 492億6,739万円



【歳出決算額内訳】(※性質別歳出)

項 目		27年度 (単位:万円)	構成比	増減率
義務的経費	扶助費	81億3,922	16.5%	2.2%
	人件費	77億9,245	15.8%	0.8%
	公債費	59億2,553	12.0%	0.7%
	元金	54億1,569	11.0%	2.2%
	利子	5億 984	1.0%	△13.4%
小 計		218億5,720	44.4%	1.3%
投資的経費	普通建設事業費	49億 60	9.9%	△4.7%
	災害復旧事業費	18	0.0%	△99.9%
	小 計	49億 78	9.9%	△10.3%
その他の経費	物件費	62億6,765	12.7%	8.5%
	補助費等	60億6,174	12.3%	12.5%
	繰出金	54億5,562	11.1%	2.2%
	投資及び出資貸付金	18億5,748	3.8%	74.2%
	積立金	17億8,267	3.6%	△31.9%
	維持補修費	10億8,425	2.2%	△4.2%
小 計		225億 941	45.7%	5.6%
合 計		492億6,739	100.0%	1.9%

※端数処理の関係で構成比の計は各項目の積み上げと一致していません

※性質別歳出
歳出の分類方法は、目的別と性質別があります。前者は、農林水産業費や教育費など目的ごとに分類したもので、後者は、人件費や普通建設事業費、物件費など性質ごとに分類したものです。

財政状況

全項目で健全化基準をクリア

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率（4分類）と資金不足比率があります。

国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期健全化団体（要注意状態）」「財政再生団体（破たん状態）」のいずれの状態にあるか、また各会計の経営状態はどうかを判断することができま

は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると言えますが、今後も引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

借金は減少、財政健全化を推進
本市の地方債（借金）の平成27年度末現在高は、前年度末と比べ、およそ12億円減少しています。一方、主な基金（貯金）の平成27年度末現在高は、前年度末と比べ、およそ6億円増加しています。

決算などについて、詳しくは
▶決算や財政状況については、本庁財政課へ問い合わせください▶平成27年度決算書、実施した事業の概要や成果をまとめた資料は、同財政課や各総合支所地域振興課、各市立図書館、各振興センターに備え付けているほか、市ホームページに掲載しています▶市の職員が予算や決算などの説明に伺う「ふれあい出前講座」もあります

【財政健全化判断比率】

区 分	花巻市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－ 億円	11.85 億円	20 億円
連結実質赤字比率	－ 億円	16.85 億円	30 億円
実質公債費比率	10.5 億円	25 億円	35 億円
将来負担比率	97.7 億円	350 億円	

【資金不足比率】

会計名	花巻市	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	－ 億円	20 億円
下水道事業	－ 億円	20 億円
農業集落排水等污水处理事業	－ 億円	20 億円

注1…表中、各基準は国が示した数値です
注2…赤字額、資金不足がない場合は、「－ 億円」で表しています

用語解説

▶実質赤字比率／普通会計（一般会計など）の赤字比率▶連結実質赤字比率／市の全ての会計（普通会計・特別会計・企業会計）を含めた赤字比率▶実質公債費比率／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率▶将来負担比率／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債（借入金残高など）を見るための比率▶資金不足比率／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

